

科目名		履修者のコメント
海外研究機関実習	進取	<ul style="list-style-type: none"> ■ 短期間で、海外で学術成果を出す訓練になった。 ■ 専門領域の学術内容をトップレベルの専門家と英語で議論することによって、専門力とコミュニケーション能力を総合的に高めることができる。 ■ 自分の研究分野で有名な先生の所で研究できるチャンス。コネクション形成にも利用できる。実際に行く機関や国によって学ぶことが大きく変わると思うので、その点も考慮して積極的に手を挙げていくべき。人生観が変わる。 ■ 多角的な視野の養成のためには少し専門から外れた受け入れ先が良いかもしれない。 ■ 今後、研究者としてどうなりたいかについて考える良い機会であり、大きく視野を広げる事ができた。 ■ 自分を総合的に、自己評価できるよい機会となる。 ■ 海外の研究者のon・offの使い分けを参考にすることができる。 ■ インターンシップよりも相手の年代が近いのでプライベートで積極的に仲良くなることができ、コミュニケーション向上に大変役立つ。 ■ 見知らぬ地で過ごした海外文化の体験、新たな人脈、学習してきたことの研究への応用、と全てが人生の財産になると思う。 ■ 自分の振る舞いや取り組む姿勢が、将来後輩達の影響を及ぼすことを念頭において取り組んで欲しい。 ■ 英語でのプレゼンやディスカッションは本当に苦勞したが、英語への苦手意識は多少薄れた。